

主な内容	2面	町田市発！ 小学校英語教育のすゝめ
	3面	まちだの小中連携
	4面	行ってみよう、見てみよう 町田の遺跡

# まちだの教育

2017年  
9月21日

No.100



発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

## 「まちだの教育」100号発行記念

# 町田の「学び」の歩み—平成版—

1989(平成元)年7月30日の創刊から28年、「まちだの教育」は、今号で100号を迎えることとなりました。節目となる今号では、これまで「まちだの教育」がお伝えしてきた、28年間の町田の学校教育・生涯学習の主な出来事を振り返ります。



### 地域で支える町田っ子の未来探し

市立中学校の2年生全員が、市内を中心とした民間事業所等で5日間にわたって実際に仕事を体験しています。

これまでに、のべ5,200以上もの事業所の方々にご協力をいただき、約35,000人以上もの生徒が、自分の未来を考えるための貴重な体験をさせていただきました。

忠生中学校の卒業生で、現在は保育士として働いている浅野萌さんに職場体験の思い出をお話いただきました。

#### ～職場体験の思い出～

(株)こどもの森 淵野辺わんぱく園 浅野萌さん



▲69号(職場体験特集号)から

もともと保育士という職業に関心があり、市内の保育園で職場体験を行いました。「子どもたちと全力で遊ぶこと」が仕事でしたが、この5日間の体験は今も心に残っています。

中でも、なついてくれていた男の子たちがケンカを始めた時、どうしたらよいかわからずに困ってしまったことや、運動会の練習で主任の先生が新人の先生に子どもたちへの接し方をわかりやすくアドバイスされているのを見て、参考になったことが印象深い出来事です。

また、体験先では素敵な先生にお会いしました。お話ししているだけで、こちらも思わずニコニコしてしまうような笑顔がとても素敵なんです。その方から先生は笑顔が一番だということを知るとともに、自分もそんな先生になりたいと思いました。

この職場体験を終えて保育士を目指すことを決め、高校は保育の勉強ができる場所を選び進学しました。今は保育園で0・1歳児の担任をしています。毎日やりがいを感じながら働いています。

1989(平成元). 7  
まちだの教育 創刊

1990(平成2). 11  
中央図書館 オープン

2004(平成16). 4  
町田市立小・中学校選択制度 開始  
「指定校」以外の学校への入学を希望できるようになりました。その後、希望できる学校の要件を変更し、名称を「通学区域緩和制度」に改めています。

2005(平成17). 9  
中学校2年生職場体験推進事業 開始

2007(平成19). 4  
学校支援ボランティア 開始

2008(平成20). 4  
小中一貫町田っ子カリキュラム 開始  
小中9年間を見通した教育を推進するため、「規範教育」「キャリア教育」「食育」「英語教育」について町田市独自のカリキュラムを作成し、市立小・中学校全校で取組を開始しました。

2009(平成21). 6  
学校支援地域理事配置 開始  
効果的かつ円滑な学校運営のため、学校ごとに地域の方々に「学校支援地域理事」に就いていただき、ともに考え、支援していただく取組を始めました。

2012(平成24). 4  
生涯学習センター オープン

2015(平成27). 4  
登録文化財制度 導入

従来の指定文化財制度では対象外であった文化財についても保護や周知を図るため、より基準が緩やかで、所有者にとっての制約も少ない登録文化財制度を導入しました。

### これからも、町田の「学び」のさらなる充実を目指して

未来を担う子どもたちがよりよく成長していくため、また、だれもが生涯を通じ学び、支え合うことができる社会をつくるため、今後も町田の学校教育・生涯学習の充実に取り組んでいきます。

引き続き、市民の皆さんのご協力、ご支援をお願いいたします。

### 生涯学習の場の充実

町田駅前の新しい顔として、市内最大の図書館が開館しました。その後、鶴川駅前図書館・忠生図書館が新たに開館し、現在市内には8館の図書館が設置され、各地域で市民に必要な情報を提供する拠点となっています。

また、2006年には町田市民文学館ことばらんどがオープンし、市の文学財産を後世に伝えるとともに、文学やことばの楽しさに触れられる場を提供しています。



▲93号から

#### ▲中央図書館特集コーナー

テーマに沿った資料を並べた特集コーナーでは、利用者の方々に新たな分野の本と出会うきっかけを提供しています。

#### ▶文学館展示室

町田ゆかりの作家の紹介や、文学やことばの魅力を伝える展覧会を、年4回開催しています。



### 地域協働の学校づくり

学校のニーズに合わせて、地域の方々にボランティアとして、学校の教育活動や安全・環境整備等に関する支援を行っていただいています。

学校支援ボランティアは、学校支援地域理事とともに、学校が家庭や地域と連携し、ともに子どもを育てていく「地域協働の学校づくり」の大きな役割を担ってきました。

事業開始当初、ボランティアの数は1,800人程度でしたが、現在は約19,000人もの皆様にご協力をいただいています。



▲82号から

#### ▲総合的な学習の時間「境川 環境学習」

「町田の尾根・谷戸に親しむ会」の方が、講師となって子どもたちに草花、鳥、石ころなど川辺の環境について教えていただきました。

### 一人一人にあった多様な学習活動を支援

市民の学習活動を総合的に支援するための教育機関として、生涯学習センターを設置しました。

多様化する市民の学習ニーズに応えるため、各種講座・イベント等の開催や施設の貸出に加え、学習に関する情報の収集・提供や、学習相談などを行っています。

より充実した学びの場が提供できるよう、近隣の教育機関や市民団体、企業などとの連携を深め、協力しながら事業を展開しています。



81号から▶



◀さがまちカレッジ  
町田市と相模原市を生活圏とする大学、NPO、企業等で構成される「さがまちコンソーシアム」と連携し、成瀬地区で実施した講座「毎日みつける素敵な私—おしゃれな心のサプリメント—」

学校でのいじめに関するご相談は

●いじめ110番：724・2867

障がいがある児童・生徒の就学・進学に関するご相談は

●就学相談：793・3057

子どもの教育上の問題に関するご相談は

●教育相談：792・6546



# 町田市発！小学校英語教育のすゝめ



2020年度に小学校で全面実施される新たな学習指導要領では、英語教育が教科として小学校の5・6年生で本格的に導入されます。町田市では、東京都で10地区ある「英語教育推進地域」の一つとして、様々な取組を進めており、2020年度に先駆けて、2018年度から小学校3・4年生で年間35時間、5・6年生で年間70時間の英語の授業をはじめます。「英語って楽しい!」「英語を使ってみよう!」と感じる児童が増えるように、「英語教育推進地域」の取組を進め、生涯にわたって英語を活用し、積極的に異文化との交流を楽しむことができる児童を育成します。

問い合わせ 指導課 724・2867

すゝめ その1

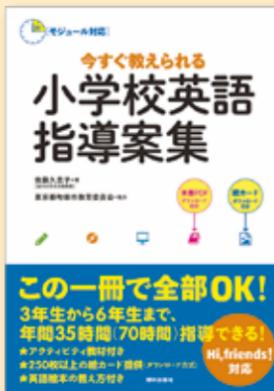
## 絵本を使った授業づくり

絵本を取り入れて授業をすることで、英語を使用する場面と結び付けて英語を学ぶことができます。また、海外の絵本を使うことで、海外の文化と日本の文化の違いについても学ぶことができます。各学校では、リズムを取り入れた読み方や、クイズを取り入れた読み方など、様々な読み聞かせの工夫を行っています。今後も絵本を増やし、授業で活用していく予定です。



日本の絵本とは違う雰囲気  
で面白かった!

絵があるので、英語が  
分かりやすい!



英語絵本を使った  
教え方も載ってる  
よ!

学力向上イメージ  
キャラクター  
「のびーくん」

■玉川大学大学院  
教授 佐藤久美子 編著  
■町田市教育委員会 協力

6月9日(金)に、「今すぐ教えられる 小学校英語指導案集」が、朝日出版より出版されました。本書は、佐藤教授と町田市教育委員会が共同して作成したもので、2020年からの小学校3・4年生における必修化、5・6年生における教科化を前に、小学校の担任が今すぐ英語を教えられることを目指した指導案集です。全国の書店で購入することができます。

すゝめ その2

## 町田市放課後英語教室

通称：MAEC (Machida after school English class)



音声ペンを本に当てると  
英語が聞こえるよ!

音声ペンやリズムを使って  
英語の勉強ができるから、  
楽しいね。

グローバル社会で活躍できる人材を育てるため、小学校3~5年生を対象に南大谷小学校、本町田東小学校、鶴間小学校の3校において、2016年度と2017年度に試験的に実施しました。音声ペンを使用することで、子どもたちは楽しみながら英語を学んでいます。今後、他の小学校においても、実施する方向で検討を進めています。

すゝめ その3

## テレビ電話システムを活用した交流活動



私の英語、ちゃんと  
通じた!

授業で習った単語が  
聞き取れたよ。

鶴川第一小学校、鶴川第二小学校、小山ヶ丘小学校の3校で、タスマニア州の現地校に通う児童・生徒と交流しました。エイサーも披露し、大好評でした。



## 多くの学校で実践するために

—小学校英語・実践発表会—

6月19日(月)、鶴間小学校において、実践的な英語教育の普及を目的に、市内の教員を対象にした小学校英語の発表会を開催しました。玉川大学大学院の佐藤久美子教授にご講演をいただくとともに、英語教育推進リーダーによる授業公開や発表が行われました。

授業公開



たくさん英語で話す機会を設けることで、子どもたちが自信をもって自分の思いを伝える姿が見られました。

講演



玉川大学大学院の佐藤教授に、児童の興味を高める英語指導についてお話いただきました。

実践発表会



英語教育推進リーダーによる発表では、指導方法や時間割の組み方について情報を共有することができました。

## 新学習指導要領への対応 《2018年度》

全小学校で、英語教育を下記の時間数実施

- 1・2年生：6時間/年
- 3・4年生：35時間/年
- 5・6年生：70時間/年

町田市  
教育講演会

## 体力向上・パワーアップDAY 第2弾!!

気軽に取り組める様々な運動を参加者全員で体験します。子どもたちと一緒に楽しく体を動かしてみませんか?

問い合わせ 指導課 724・2867

開催日時 10月14日(土) 9時30分～12時

会場 町田第一小学校(体育館)

申し込み 10月6日(金)までに市内小・中学校の児童・生徒、保護者の方は各学校へ、その他の方は指導課までお電話でお申し込みください。

持ち物

動きやすい服装・  
上履き・飲み物・  
汗拭きタオル

**南中学校・南第一小学校・南第三小学校・南第四小学校**  
**先輩に学び、後輩に伝える ～あいさつ・優しさ・活気～**

**● 連合運動会(2016年11月18日)**

南中学校区の特徴の一つが、連合運動会です。この連合運動会は、南中学校区が他の中学校区に先駆けて2013年度から実施しており、2017年度で5回目を迎えます。昨年度は、南中学校の校庭を会場とし、小学校3校の6年生が一堂に集い、以下の競技を行いました。



中学生が各競技の準備をしました。

**種目(男女別・個人・集団)**

- 80m走 ● 50mハードル走 ● 800m走
- 学校選抜リレー

南中学校区では、競技種目を陸上競技のみとし、他地区では実施していない競技を先行して実施するなどの先進的な取組を続けており、今年度は陸上部生徒の模範試技も計画しています。

連合運動会は、小学校6年生の体力・運動能力を向上させるとともに、向上策の相互啓発を図り、中学校進学時の連帯感を養うことを目的としています。



3校の小学生が一堂に会し、競い合いました。

運営や進行には、小・中学校の校長をはじめ、多くの教職員や生徒が関わっています。まさに小・中学校連携の優れたモデルケースといえます。

**南中学校の教員と生徒が担当**

- 準備運動 ● 走り方指導
- 800m計測補助 ● 入退場補助
- 各種目整列補助 ● 誘導 など

**地域に支えられながら 連携を深めています。**

**● 部活動体験(2016年12月17日)**

これは、正式には「小・中学生文化スポーツ交流会」と言い、33年前から行われている歴史ある活動です。

町田市青少年健全育成南第一地区・南第三地区・南第四地区委員会が主催し、町田警察署生活安全課少年第一係の後援を受けて、小学校6年生を対象に実施しています。昨年度は約100人の小学校6年生と約250人の中学生が参加し、中学校の運動部や文化部の活動を通じて交流を行いました。



中学生からクラリネットの吹き方を教わりました。

体験できる部活動の数は試合等の影響で毎年異なりますが、昨年度は13部で交流を行いました。ハンドボール、テニス、野球等運動部での実技体験の他に、吹奏楽、演劇等文化部での見学や個別指導もありました。



サッカーでは迫力ある体験を行いました。

本活動の特徴は、青少年健全育成委員会と警察、小・中学校が連携した活動であるということです。開会式で校長の他に警察の方から挨拶があったり、終了後に青少年健全育成委員会が作ったカレーライスが振る舞われたりします。特に、体験後のカレーライスは子供たちに大人気で、すぐに完食となります。

中学生は開会式での説明や各部への誘導等運営を担うことで、小学生に先輩として中学校の様子を伝え、小学生は中学校での体験・見学を通して先輩から学び、卒業後のイメージをもちます。子供たちの健やかな成長のために、学校・地域・関係機関が一体となって取り組んでいます。

**9年間の 育ち支える、学びつなげる**  
**まちだの 小中連携**

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。



**忠生中学校・忠生小学校・山崎小学校・図師小学校**  
**小学校から中学校へ期待育む小中連携活動！**



**連携その1 忠生中学校区 小中連携連絡会を毎年開催！**

毎年、忠生中学校区4校が持ち回りで授業公開を行っています。中学校、小学校の先生が双方の授業を見合い、中学校入学に向けて、小学校では何をどこまで指導しておく必要があるかなど、小中連携のありかたについて検討する場としています。

授業後は全教員が教科ごとの分科会に分かれ、授業の感想や小中それぞれの学習課題について意見交換し、日頃の指導に役立てています。



中学校に向けて、小学校で定着させたいことが明確になった。

小学校の指導の様子がよく分かり、参考になった。



**連携その2 中学校部活動体験！**

やさしく教えてもらって部活に入れたかった！



中学校生活が楽しみ！

忠生中学校では3学期(昨年度は1月21日土曜日)に、中学校の新入生保護者説明会とともに部活動体験を行っています。児童にとって部活動は中学校生活への大きな楽しみの一つです。部活動の体験をとおして夢や期待をふくらませるとともに、直接、中学生の先輩方と交流できる機会をもつことで、新しい生活への安心感をもたせることができている。



**連携その3 連合運動会を開催！**

忠生中学校区では小学校2校ずつが集まって連合運動会を開催しています。(山崎小は七国山小と行っています。)

閉会式では、忠生中学校の教員による指導・講評を行っています。中学生になっても運動に意欲的に取り組めるよう、競技のポイントについて分かりやすくアドバイスしてもらっています。

また、同じ中学校に進学する児童がともにチャレンジしたり指導を受けたりすることで、良き交流の場になっています。



中学校教員が指導・講評を行います



次はもっと上手に跳べるかも！

# 行ってみよう、見てみよう町田の遺跡

町田市は都内でもトップクラスの遺跡数を誇り、歴史的な意義のある貴重な遺物が多数発掘されています。なかには史跡指定(国、都、市)され、当時の状況を再現したり、公園整備を行ったりして見学できる遺跡があります。また、考古資料室では市内の優れた出土品を公開しています。当時の人々の思いを今に伝える遺跡を是非見に来てください。

**多摩境駅から徒歩5分、日本で一番駅から近いストーンサークル！**

## ◆ 田端環状積石遺構(都指定史跡) 小山町3112-2他



▲ストーンサークル9×7m、写真はレプリカ、本物はこの直下に保存されています

### 町田のストーンサークルとは？

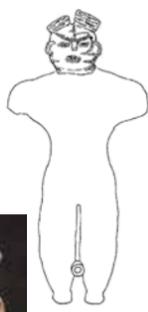
今から3700年前頃(縄文後期)、約30か所の墓の上に大小900個以上の石をサークル状に積み上げてつくられた祭祀センターです。2700年前頃(縄文晩期)までの約1000年にわたり、様々な祈りが捧げられる場として機能しました。ここからは土偶、石棒、土器、大珠(装身具)などが出土しています。

### 何のためにつくられたの？

ここ田端は、南西側に丹沢山塊が眺望でき、冬至には、最高峰の蛭ヶ岳山頂に太陽が沈みます。縄文人は昼間が一番短い冬至を太陽の死とみなし、人の死のイメージと重ね合わせていました。春にむかって太陽が再び光を増すように、人の命の再生を願ってストーンサークルを造営したと考えられています。

また、当時の富士山は噴火活動の活発だった時期にあたります。田端からは富士山の火口も覗いており、その火口から轟音とともに火柱があがっていたとしたら、町田の縄文人にとって大変恐ろしい光景だったことでしょう。ストーンサークルの造営は、こうした天変地異を鎮める目的もあったのではないのでしょうか。

## ◆ 故郷は北海道？ 謎の土偶「まっくう」



◀まっくう  
(中空土偶頭部、高さ7cm、厚さ約3mmの中空構造、田端東遺跡出土、町田市指定有形文化財) ※胸部シルエットは函館市著保内野(ちょぼない)遺跡出土の国宝土偶の形を借用しました。

町田市の「まち」と中空土偶の「くう」を合わせて「まっくう」と呼ばれています。町田市考古資料室でお待ちしています！

### 助っ人土偶の登場

田端環状積石遺構からほど近い田端東遺跡から出土した中空土偶頭部の「まっくう」は、非常に珍しい形をした土偶で、町田市の周辺では他に出土していません。なんと、町田から遠く離れた北海道函館市で、これと同一様式の中空土偶(国宝カックウ)が出土しているのです。これはどういうことなのでしょう。

諸説ありますが、天変地異を鎮めたり、その他の様々な祈りを捧げるためには祖先の霊力では足りなかったのか、田端にストーンサークルがつくられて300年ほど経った頃、別の土地から強い力を持った新たな土偶が招かれたのではないかと考えられています。縄文人の願望実現にむけた切実な思いが現れているかのようです。

## こちらもおすすめ！当時の暮らしに想いをさせて

### ◆ 本町田遺跡(都指定史跡) 本町田3455-36他

縄文住居4軒、弥生住居7軒が発掘されました。各時代の住居が1軒ずつ復元され、開園日は茅葺屋根の屋内にも入れます。気持ちのいい遺跡公園を、のんびりお散歩してみませんか。(年末年始を除く月曜以外開園9時～16時半)

縄文前期 約6000年前・弥生中期 約2000年前の一般的なムラ▶



珍しい土器や石器を見よう！



### ◆ 町田市考古資料室

下小山田町4016

◀縄文時代から中世までの出土品約200点を公開しています。(年末年始を除く第2・4土日祝日のみ開室10時～16時、駐車場あり)



### 国内最大級の石棒

◀彫刻付大形石棒 縄文中期(約5000年前)  
全長1.8m、重さ約55kg、幾何学文様が彫刻された子孫繁栄を祈る巨大な祭祀道具。この石棒は、祭りの最後に住居ごと火だるまにされ、1300点もの破片となってしまった凄まじい逸品です。忠生遺跡A地区(木曾西二丁目)出土



### 全国に3例しかない貴重品

◀クルミ形土器 縄文中期(約5300年前)  
直径約22cm、器高約7cm、クルミの実を2つに割って中身を取り出したあのかたちで、獣の顔面とみられる装飾がつけられた造形はこの資料だけです。木曾中学校遺跡(木曾西二丁目)出土